



令和8年9月定例議会

定例記者会見

名張市

令和8年8月28日(金)



令和8年度 9月提出議案

条例議案(1件)

○名張市市税条例の一部を改正する条例の制定について

－市民部 課税室－

固定資産税の税率を変更するため、所要の改正を行おうとするものです。

一般議案(4件)

○市道路線の変更について

－都市整備部 維持管理室－

開発行為に伴い築造された付け替え道路を引き続き本市が維持管理していく必要があるため、市道の終点を変更しようとするものです。

○伊賀南部環境衛生組合理約の変更に関する協議について

－なばりの未来創造部 総合企画政策室－

伊賀南部浄化センターの供用を廃止することから、し尿及び浄化槽汚泥に係る分担金の規定を削除するため、規約の一部を変更することについての議会の議決を経て、伊賀市と協議を行おうとするものです。

○財産の取得について

－消防本部 救急室－

財産(高規格救急自動車1台)の取得について、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議決を求めようとするものです。

○財産の取得について

－消防本部 消防総務室－

財産(消防ポンプ自動車(非常備消防)1台)の取得について、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議決を求めようとするものです。



令和8年度 9月補正

令和8年度 一般会計補正予算(第2号)について

補正額 2億2,761万3千円の増額(補正後予算額 320億947万1千円)

◎令和7年度決算に基づく予算措置 1億4,898万9千円(①+②)

■財政調整基金元金積立金(決算剰余金の積立)・・・1,350万円・・・①

<国県費等の返還> 1億3,548万9千円・・・②

■企画費(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)・・・859万円

■社会福祉総務費(重層的支援体制整備事業交付金)・・・875万6千円

■障害者福祉費(障害者自立支援給付費負担金等)・・・4,196万1千円

■児童福祉総務費(児童入所施設措置費負担金等)・・・1,778万6千円

■生活保護総務費(生活保護費負担金等)・・・5,069万9千円

■保健衛生総務費(妊婦のための支援給付交付金事業負担金等)・・・760万8千円 など

◎その他の経費 7,862万4千円

■認知症基本法に基づく認知症施策推進事業・・・899万2千円

■防災福祉連携施策構築モデル事業・・・475万9千円

■現年補助災害復旧事業(台風により被災した市道法面の復旧工事)・・・1,800万円 など

<重点支援地方創生臨時交付金活用事業> 財源振替等も含め6,180万円を予算化しています。

■老人福祉費(物価高騰に伴う高齢者施設等支援事業)・・・1,750万円

■障害者福祉費(物価高騰に伴う障害福祉サービス等事業所支援事業)・・・591万6千円

■保育所費、民間保育所措置費(保育施設等の主食費・副食費無償化事業3か月延長)・・・1,930万円(財源振替含む)

■母子保健事業(乳児用おむつ宅配便事業)・・・841万円

■公共交通対策事業(75歳以上対象、ナッキー号及び地域コミュニティバス運賃無償化)・・・420万円(財源振替含む)

■小学校給食費(小学校給食費無償化事業を3か月延長)・・・549万円 など

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業(10/10)

物価高騰に伴う低所得者・高齢者世帯支援 420万円



【新規】 ナツキー号運賃無償化事業

【新規】 地域コミュニティバス運賃無償化事業

対象者:後期高齢者(75歳以上)

期間:令和8年10月~令和9年3月まで

物価高騰に伴う子育て世帯支援 3,320万円

【継続】 保育施設等主食費・副食費 無償化事業の延長

【継続】 学校給食費 無償化事業の延長

【新規】 乳児用おむつ宅配便事業



対象者:市内在住の0~2歳児(令和6年4月1日~令和8年10月31日生の乳児)

配布数:対象者1人につき3パック(サイズにより枚数は異なる)

申込:必要

案内:対象者に11月以降に発送予定

令和8年度 特別会計補正予算について

2会計の補正額 3億3,443万1千円の増額

- 国民健康保険特別会計(第1号) 7,756万7千円
- 介護保険特別会計(第2号) 2億5,686万4千円

各会計において、前年度事業費の確定に伴い、一般会計繰出金や基金積立金を増額するなど、所要の措置を行っています。



令和7年度 決算

令和7年度 一般会計及び特別会計決算の概要について

- 一般会計は、令和6年11月に策定した行財政改革プランに基づき、事務事業の見直しをはじめ、ふるさと応援寄附金やネーミングライツ、クラウドファンディングなどの財源確保、執行段階における経費節減や使い残し予算の徹底に取り組んだほか、国の総合経済対策に基づく普通交付税の追加配分をはじめ、株式等譲渡所得割交付金や地方消費税交付金などで増収となったことから、令和8年度への繰越額を除いた「**実質収支額**」は**3億1,879万円の黒字**となりました。しかし、令和7年度の実質収支額から令和6年度実質収支額を引いた「**単年度収支額**」は**6,226万円の赤字**となりました。
- その他、**7つの特別会計についても、「実質収支額」は黒字または収支ゼロ**となりました。

一般会計及び特別会計の決算額

(単位:千円)

区 分		予算額	歳入額	歳出額	差引額	繰越明許費	実質収支額	令和6年度 実質収支額	単年度収支額
一 般 会 計		34,517,964	33,314,018	32,967,210	346,808	28,023	318,785	381,048	△ 62,262
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業会計	3,810	3,960	3,128	832	0	832	279	553
	東山墓園造成事業会計	53,184	56,589	49,346	7,243	0	7,243	1,560	5,683
	国民健康保険会計	7,836,216	7,638,596	7,474,214	164,382	0	164,382	166,107	△ 1,725
	介護保険会計	8,363,538	8,267,762	8,027,396	240,366	0	240,366	225,348	15,018
	後期高齢者医療会計	2,519,672	2,513,905	2,491,322	22,583	0	22,583	24,872	△ 2,288
	国津財産区会計	137	487	95	392	0	392	28	364
	地方独立行政法人名張市立 病院資金貸付事業等会計	573,733	459,510	459,510	0	0	0	0	0
特 別 会 計 小 計		19,350,290	18,940,809	18,505,011	435,798	0	435,798	418,193	17,605
合 計		53,868,254	52,254,827	51,472,220	782,607	28,023	754,584	799,241	△ 44,657

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、差引等が一致しない場合があります。

令和7年度 健全化判断比率等について

1. 財政指標(普通会計)

(単位: %)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	100.1	93.8	99.2	100.0	99.5	98.6
財政力指数(3か年平均)	0.701	0.674	0.653	0.632	0.628	0.619

▶令和7年度は、市立病院運営費負担金(繰出金)や後期高齢者医療保険特別会計への繰出金などの経常一般財源歳出が約4.4億円増えたものの、経済回復基調の影響を受けて、地方消費税交付金をはじめとする譲与税・交付金の増加や、国の総合経済対策により普通交付税が増加するなど、経常一般財源収入が約6.7億円増加したため、経常収支比率は前年度と比較して0.9ポイント改善し、98.6%となりました。

2. 健全化判断比率

(単位: %)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	12.59	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	—	17.59	30.00
実質公債費比率	15.7	15.5	14.9	13.7	25.0	35.0
将来負担比率	144.9	130.5	125.8	125.7	350.0	

▶実質赤字比率は、対象となる一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、東山墓園造成事業特別会計及び地方独立行政法人名張市立病院資金貸付事業等特別会計の実質収支額がいずれも黒字又はゼロでしたので、算定比率はありません。公営企業会計を含む全会計を対象とする「連結実質赤字比率」も、全会計で赤字が生じていないため、算定比率はありません。

▶実質公債費比率(3か年平均)は、比率算定の分母にあたる標準財政規模の増加などにより、令和6年度に比べ1.2ポイント改善し13.7%となりました。

▶将来負担比率は、地方独立行政法人名張市立病院の繰越欠損金を将来負担額に計上することとなった一方で、地方債残高の減少や、将来負担すべき地方債等から控除できる充当可能基金の残高が増加したことなどにより、令和6年度に比べ0.1ポイント改善し125.7%となりました。

3. 資金不足比率

(単位: %)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	—	—	20.0
下水道事業会計	—	—	—	—	

▶水道事業会計・下水道事業会計はいずれも資金不足が発生していないため、算定比率はありません。

令和7年度 水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和7年度の水道事業は、令和3年度からの10年間を計画期間とする“第2次名張市水道ビジョン”に基づき、老朽施設の更新・改良事業として、「富貴ヶ丘浄水場中央監視制御設備更新工事」等を実施するとともに、老朽管の更新及び耐震化として、「県道赤目滝線配水管φ150mmほか更新工事」等を実施するなど、安全で安定した水の供給、災害に強い水道の整備に努めました。

2. 業務量

	給水人口	給水戸数	年間配水量	有収水量	有収率
当年度	72,467人	31,796戸	9,481,693m ³	8,751,175m ³	92.3%
前年度比	△1.4%	0.0%	△1.8%	△0.9%	0.8ポイント

3. 収入及び支出

(1) 収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は16億4,768万1千円で前年度比0.7%(1,159万7千円)の減となりました。事業費用は18億6,195万4千円で前年度比2.2%(4,043万8千円)の増となりました。これらのことから収支差引額2億1,427万3千円が当年度純損失となりました。

	事業収益				事業費用				当年度 純損失	当年度 未処分 利益剰余金
	営業収益	営業外収益	特別利益	合計	営業費用	営業外費用	特別損失	合計		
当年度(千円)	1,249,216	398,388	77	1,647,681	1,835,115	26,425	413	1,861,954	214,273	5,790,109

(2) 資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額
当年度(千円)	1,112,616	1,605,931	△493,315

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億9,331万5千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。

※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。

令和7年度 下水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和7年度の下水道事業は、令和元年度に改定を行った“名張市下水道整備マスタープラン”に基づき、合理的な手法の選択と計画的な整備を進め、市民の快適な生活環境の創造と公共用水域の水質保全に取り組みました。

建設工事については、管路施設整備として、「中央処理区幹線下水工事」等を実施し、また、処理場施設整備として、日本下水道事業団に委託し、「中央浄化センター増設事業にかかる建設工事」等を実施しました。

2. 業務量

	行政区域内 人口	処理区域内 人口	処理区域内 水洗化人口	普及率	水洗化率	汚水処理 水量	有収水量	有収率
当年度	72,707人	52,045人	46,879人	71.6%	90.1%	5,424,426m ³	5,097,851m ³	94.0%
前年度比	△1.4%	△1.4%	△1.8%	0.1ポイント	△0.3ポイント	△6.3%	△1.0%	5.0ポイント

3. 収入及び支出

(1) 収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は26億5,820万8千円で前年度比2.0%(5,429万円)の減となりました。事業費用は27億3,854万1千円で前年度比1.2%(3,372万円)の増となりました。これらのことから収支差引額8,033万2千円が当年度純損失となりました。

	事業収益				事業費用				当年度 純損失	当年度 未処理 欠損金
	営業収益	営業外収益	特別利益	計	営業費用	営業外費用	特別損失	計		
当年度(千円)	892,541	1,765,667	0	2,658,208	2,519,058	219,275	208	2,738,541	80,332	107,163

(2) 資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額
当年度(千円)	2,421,607	3,030,617	△617,672

(資本的収入額[翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額866万2千円を除く。]が資本的支出額に不足する額6億1,767万2千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。

※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。



その他 発表事項

「Vitality名張ウォーク」の実施について

目標達成で必ずもらえる！おトクなウォーキング特典

楽しみながら運動習慣のきっかけづくりに取り組みましょう！

※「Vitality名張ウォーク」は、名張市と住友生命が協働で行い、市民の皆さまの健康づくりを応援する事業です。

利用イメージ



詳細はこちら



申込期間： 令和8年9月28日(月)10時～10月4日(日)

利用できる方： 15歳以上の名張市にお住まい、またはご勤務されている方

募集人数： 先着200名

実施期間： 令和8年10月5日(月)～11月29日(日)

市民の健康づくり及び母親の育児支援に関する協定締結 & MOM UP PARKの実施について

市民の健康づくり及び母親の育児支援に関する協定締結

協定締結の目的

市民の健康づくり及び母親の育児を応援する取組を推進し、安心して暮らしやすい地域社会の実現を図る。

協定締結式



日時: 令和8年11月2日(月) 14:30～
場所: 名張市防災センター 2階 研修室
協定相手方: 株式会社
つくばウエルネスリサーチ

記念講演会

「暮らしやすさと幸福(ウェルビーイング)が
実感できる まちづくり」

日時: 令和8年11月2日(月) 協定締結式終了後
場所: 名張市防災センター 2階 研修室
講師: 筑波大学大学院人間総合科学研究科
スポーツ医学専攻教授
株式会社つくばウエルネスリサーチ
代表取締役社長 久野 譜也 氏
定員: 80人(申込必要)

市民の健康づくり及び母親の育児支援に関する協定締結 & MOM UP PARKの実施について

MOM UP PARK



女性の健康課題※の解決策の1つとして、妊娠・子育てママの“からだところ”のコンディションを専門家と一緒にととのえるオンラインのセルフケア・プログラムの提供を行います。

※女性の健康課題・・・自分の健康より子育て・仕事を優先、30～40歳代女性の体力低下、成人女性の「痩せ」問題（筋力低下・骨粗鬆症・不定愁訴の憎悪）など

プログラム内容

◇MOM UP PARKのLINE公式アカウント友だち追加で『無料配信プログラム「20分のホント」』が視聴でき、子育てや健康について専門家がやさしく解説します。



◇専門家による『コンディショニング』が、自宅でも受けられるようになります。

※無料のママアップ・アカウント登録でトライアルパス（3回分/有効期限あり）を付与。
月額550円でレギュラーパスに切り替えも可能。

※運動&交流のオンラインプログラムは毎日開催。自分の都合にあわせて予約のうえ参加。

妊産婦対象公共ライドシェア「はぐライド」実証運行

通院や買い物などの移動に

タクシー優先配車の公共ライドシェアを活用しませんか

※公共ライドシェア・・・地域の交通を支えるために、住民ドライバーが自家用車を使って利用者を支える仕組み

事業の趣旨

妊産婦の通院や育児に関わる移動を支えるために、地域みんなで子育てを支える新たな取組として、タクシー事業者と連携し、住民ドライバーによる公共ライドシェアの実証運行

事業の概要

利用対象者	令和8年10月1日時点で (1)母子手帳の交付を受けた妊産婦(産後1年未満の者) (2)1歳未満の乳児
運行エリア	名張市内及び森川病院(伊賀市)
運行期間	令和8年10月1日(木)～12月28日(月)
運賃	500円～3,000円(距離により変動)
利用方法	アプリまたはコールセンターへの電話予約
実施主体	三重県・名張市



☆公共ライドシェアドライバー募集期間延長！

21歳以上70歳未満で普通自動車第1種免許保持者など。報酬あり。

藤堂高吉のまち・名張魅力発信プロジェクト

「名張再考! (最高) TAKAYOSHIプロジェクト」歴史講演会

現在放送中のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」において、時代考証をされている黒田先生を迎え、主人公豊臣秀長とその養子となった藤堂高吉公についての講演会

日 時: 令和8年10月11日(日) 13:30~15:00 (開場12:30~)

場 所: 名張市総合福祉センターふれあい ふれあいホール (丸之内79番地)

講 師: 駿河台大学 教授 黒田基樹 氏

定 員: 250名

申込方法: ホームページまたは文化生涯学習室へ直接申込

申込期間: 9月10日(木)~9月30日(水) ※先着順

名張街道市と
同時開催!



10/9(金)~12(月)までは
名張藤堂家邸 入場無料

藤堂高吉公イメージ画創出プロジェクト

時代の荒波を乗り越え、名張のまちの礎を築いた高吉公のイメージ画を歴史講演会に合わせて発表し、その後は藤堂家邸に展示します。

藤堂高吉公の足跡をたどる名張・歴史周遊スタンプラリー

藤堂高吉公にゆかりのある歴史スポットをめぐるデジタルスタンプラリーを開催予定です。